

## 平成23年度 第1回帯広市健康づくり支援部会議事録

日 時：平成23年7月4日（月）

第1回帯広市健康生活支援審議会終了後

場 所：帯広市役所10階第6会議室

### ●会議次第

1. 開会
2. 部会長選出
3. 会議
  - (1) 平成22年度第4回帯広市健康づくり支援部会議事録（案）の確認
  - (2) 「けんこう帯広21」健康づくりに関するアンケート調査（案）について
  - (3) その他
4. 閉会

●出席委員： 吉村 典子副部会長、井出 渉委員、相馬 昇委員、佐土根 由委員、高橋セツ子専門委員、高橋 きみ子専門委員、角谷 巍啓専門委員

### ●議事録

#### ○事務局

皆様、こんばんは。

定刻となりましたので、第1回健康づくり支援部会を始めさせていただきます。

本日は、大変お忙しいところ、また、お疲れのところご出席いただき、誠にありがとうございます。

開会に先立ちまして、新たに井出委員と相馬委員が健康づくり支援部会の委員として指名され、はじめての会議となりますので、あらためて委員の皆様にご自己紹介をお願いいたします。

[各委員 自己紹介]

#### ○事務局

次に、当専門部会を担当します健康推進課職員を、大久保館長から紹介させていただきます。

#### ○大久保館長

[大久保館長・大越副館長・五十嵐補佐・竹川係長・永田主任紹介]

#### ○事務局

それでは、ただいまから、平成23年度第1回健康づくり支援部会を開催させていただきます。

本日の委員の出席は、有岡委員より事前に欠席の連絡を頂いておりますことから、健康づくり支援部会、委員8名中7名のご出席をいただいております。出席人数が委員の過半数を超えていますことから本日の部会は成立しております。

本日、午後7時より第1回高齢者支援部会・健康づくり支援部会合同部会が開催されますことからただいまから佐和部会長の退任に伴います新部会長の選任を行い、合同部会終了後、引き続き健康づくり支援部会を開催いたしますので、よろしくご自己紹介をお願いします。

これより、部会長が選出されるまでの間は、吉村副部会長に進行をお願いいたします。

○吉村副部長

それでは、部会長が選出されるまでの間、私が進行役を務めさせていただきます。

本日の会議次第の2番目、部会長の選出を議題といたします。それでは、事務局からご説明お願いいたします。

○大越副館長

それでは、私から部会長の選出について説明させていただきます。

当部会の部会長につきましては、昨年8月25日の本部会において、佐和部会長が選出されましたが、今般、都合により佐和部会長が退任されたことから、新たに部会長を選出するものであります。

なお、部会長の選出につきましては、帯広市健康生活支援審議会条例規則第3条第4項の規定により、専門部に所属する委員の中から委員及び専門委員の選挙により選出することとなっております。説明は以上であります。

○副部長

只今、事務局から部会長の選出についてご説明がりましたが、部会長の選出についてどのようにすべきかお諮りいたしたいと思っております。

○高橋セツ子委員

指名推薦でいかがでしょうか。

○吉村副部長

只今、高橋セツ子委員より、指名推薦とのご提案がございましたが、部会長の選出は、指名推薦によるものとしてよろしいでしょうか。

[委員同意]

○吉村副部長

それでは、どなたか指名推薦をお願いいたします。

○高橋セツ子委員

帯広市医師会の井出委員をご推薦させていただきます。

○吉村副部長

只今、高橋委員から部会長に井出委員の推薦がございました。その他にございませんか。

[他に推薦なし]

○吉村副部長

他になければ、部会長は井出委員とさせていただきますよろしいでしょうか。

[委員同意]

○吉村副部長

それでは、ご異議なしということで、部会長には井出委員をお願いいたします。

それでは、井出委員、こちらの部会長の席に移動願います。

[部会長 着席]

○吉村副部長

それでは、部会長から、一言ご挨拶をお願いいたします。

○井出部会長

私が部会長の井出でございます。がんばってやっていきたいと思っておりますので、ご協力お願いいたします。どうぞよろしくをお願いいたします。

この後、午後7時より高齢者支援部会・健康づくり支援部会合同部会のため、一時中断いたします。

○井出部会長

それでは会議に入らせていただきます。

まず、前回会議の議事録の確認について、議題といたします。

この議事録は、この場でご確認いただいた後、公開される予定となっております。

議事録につきまして、ご質問やご意見があればお願いします。

[質疑・応答なし]

○井出部会長

他になければ、会議録は了承されたものといたします。

<一時中断>

○井出部会長

それでは(2)「けんこう帯広21」健康づくりに関するアンケート調査票(案)についてを議題といたします。

それでは、事務局の方から、ご説明願います。

○永田主任

それでは、私から、「けんこう帯広21」健康づくりに関するアンケート調査(案)について、説明をさせていただきますが、その前に本日お手元に配布しております資料の確認をさせていただきます。

当日配布資料:「次期健康増進計画(けんこう帯広21)策定スケジュール(案)

資料1:「けんこう帯広21」健康づくりに関するアンケート調査(案)について

資料2:各領域における指標と調査方法(案)

資料3:健康づくりに関するアンケート調査票(案)

資料4:国のデータ評価シート(案)の5点です。以上、おそろいでしょうか。

他に、「けんこう帯広21」の最初に策定したものと、中間評価、追補が一緒にあります。

では、はじめに次期健康増進計画策定スケジュールについて、説明をさせていただきたいと思えます。

お手元にお配りしておりますA4縦の一枚ものの当日配布資料、「次期健康増進計画(けんこう帯広21)策定スケジュール(案)」をご覧願います。

次期計画につきましては、現在の計画が、来年度で終了いたしますことから、平成23年度と平成24年度の2か年で、計画を策定するものです。

本年度につきましては、7月4日、本日が第1回目の部会でありませんが、今後、8月から9月にかけてアンケート調査を実施し、その後、9月から10月にかけて、集計・分析・調査報告書の作成を行った後、次回、11月の第2回目の部会に、アンケート調査の結果報告を行いたいと考えております。

その後、12月、2月の部会において、他の調査も含め、指標の整理を行い、最終評価の審議をお願いしたいと考えております。

なお、この間に、議会の所管委員会への報告や、親会である帯広市健康生活支援審議会への報告も行いたいと考えております。

次に、平成24年度につきましては、ワーキンググループ会議での検討結果を受けて、本部会において、計画素案や原案の審議と、パブリックコメントを経たのち、計画(案)の審議をお願いしたいと考えております。

また、平成23年度同様、所管委員会への報告や親会である審議会への報告も、適宜、行いたいと考えております。

なお、本年度の部会の開催につきましては、審議内容のボリュームにもよりますが、できれば合同部会の開催と同日に開催いたしたいと考えておりますが、具体的には、部会長とご相談させていただきたいと考えております。

なお、日程につきましては、変更になることもございますので、ご了承願います。

それでは、次に「けんこう帯広21」健康づくりに関するアンケート調査（案）についてご説明いたします。資料1をご覧ください。

このアンケート調査の目的であります。帯広市は平成14年3月に市民の健康づくりの指針として「けんこう帯広21」を策定し、各種の健康づくり施策を進めて参りましたが、この計画が、平成24年度をもちまして終了しますことから、市民のみなさんの健康づくりに対する意識や行動、生活習慣、健康水準などの把握・分析・評価を行い、次期計画策定の基礎資料とするため、アンケート調査を実施するものであります。

調査時期は、8月12日から9月12日までの1ヶ月間でございます。

調査対象者は、6歳から85歳までの男女2,500人で、抽出方法は、市内7地区を階層別にして、無作為に抽出いたします。

調査方法は、郵送による配布後、郵送による返信とします。

次に、指標であります。現在の計画の領域と指標は、表にありますように、領域1の「栄養・食生活」の指標11項目から13領域、「メタボリックシンドローム等」の指標7項目まで、13領域、56項目となっております。

次に、2ページをご覧ください。

調査項目であります。今回のアンケート調査は、先程、説明いたしました、現在の「けんこう帯広21」で掲げました13領域56項目の指標のうち、目標値でアンケート調査が必要な項目と基本情報など、43項目を質問項目といたしております。

なお、今回のアンケート調査で、調査を行わない指標につきましては、8の「アンケート調査以外の調査資料」に記載してありますように、「H22健康づくり講座参加者調査」などの資料を活用する予定をしております。

それでは、指標と調査方法の具体的な内容につきまして、資料2、「各領域における指標と調査方法（案）」に基づき、説明させていただきます。

資料2の1ページをご覧ください。

この表の見方でございますが、一番左側に、「1. 栄養・食生活」として、領域を記載しております。領域の右側に数字がありますが、これが、領域1の11項目の指標でございます。指標番号の右側に、具体的な「めざす指標」と平成24年度の目標値を記載してございます。

次に、目標値の右側には、「策定時のベースライン値、平成14年3月」、その右に、「中間評価」、「最終評価」とありますが、「策定時のベースライン値」につきましては、平成14年に計画を策定したときの数値で、指標1～4につきましては、「H13けんこう帯広21アンケート」の数値を使用しております。

また、「中間評価」につきましては、平成19年度に行っておりますが、指標の1～4につきましては、「H19けんこう帯広21（中間評価）アンケート」の数値を使用しております。

そして、「最終評価」が、今回行う評価であります。指標1～4につきましては、「H23健康づくりに関するアンケート」を実施し、その数値を使用しようとするものでございます。

「最終評価」の欄に、「問7」「問8」と記載された番号は、後程、説明いたしますアンケート調査表の質問番号でございます。

また、一番右側の欄に「アンケート調査のうち目標値以外の項目」として、「問9（外食）」「問10（食べる量）」などの質問番号がございますが、これは、指標とは直接関係はありませんが、今回、アンケートで調査する項目でございます。

なお、「最終評価」の欄の指標の5～10につきましては、今回のアンケート以外の調査資料、「H22健康づくり講座参加者調査」や、「H22食育に関するアンケート調査」などを使用いたします。以下、各領域ごとに、同じようにまとめております。

それでは、次に、今回実施いたしますアンケートの調査票について、説明いたします。

資料3をご覧ください。

まず、1ページであります。1ページ目は、調査にあたりましての協力依頼と記入方法、返信方法などを記載いたしております。

2ページ以降、質問事項となっておりますが、2ページの間1から、3ページの間6までは、生年月日や性別、家族の状況、職業、健康感、病歴などの「基本情報や健康感」についての質問となっております。

次に、3ページ以降は、領域ごとの質問となっておりますが、先程の「資料2」と一緒にご覧いただけますと、分かり易いかと思います。

まず、3ページの「問7」から4ページ「問13」までは、「栄養・食生活」の領域として、BMIや適正体重の認知を知るための身長、体重などの質問のほか、外食や食事のバランス、量、時間などの質問となっております。

次は、「身体活動・運動」の領域として、4ページの「問14」から6ページ「問22」まで、運動習慣や運動の種類、夏冬の運動量の差、運動をしない理由などの質問項目となっております。

また、6ページの「問21」と「問22」は、60歳以上の方を対象に、外出に対する態度や地域活動への参加状況の質問となっております。

次に、6ページの中程は、「歯の健康」の領域として、「問23」は歯の本数、「問24」は歯の健康診断の受診状況の質問となっております。

次に、「問25」から7ページの「問28」までは、「休養・睡眠」の領域として、休養の意味や1日の平均的な睡眠時間、休養がとれている度合い、睡眠補助品の使用状況などの質問となっております。

次に、7ページ中ほどの「問29」から8ページの「問33」までは、「ストレス」の領域として、この1ヶ月間のストレス感やストレスの内容、解消方法、相談場所の認知などの質問となっております。

「問34」は「うつ」の領域として、うつ病の知識の質問となっております。

次に、「問35」から9ページの「問37」までは、「たばこ」の領域として、喫煙習慣や喫煙の開始時期、喫煙と病気の関係の質問となっております。

次に、9ページの「問38」から「問40」までは、「アルコール」の領域として、飲酒の習慣や量、飲酒に対する考え方の質問となっております。

次に、10ページの「問41」と「問42」は、「がん」の領域として、定期検診の受診状況と検診

を受けない理由の質問となっております。

最後に、「問43」として、市民の健康づくりとして、力をいれるべき事項についての質問となっております。

なお、「糖尿病」、「循環器疾患」、「メタボリックシンドローム等」の領域につきましては、別の調査資料を使用いたしますので、アンケート調査の項目にはございません。

以上が、アンケート調査票の説明であります。

最後に、資料1に戻りまして、3ページ9の評価方法であります。

現在、国において先行して改定作業が行なわれておりますが、指標の達成状況につきましては、国の区分を参考に、表にありますように、「目標値達成」、「改善」、「ほぼ不変」、「悪化」の4区分で評価を行いたいと考えております。

なお、資料4として、「国のデータ評価シート（案）」を参考にお配りしておりますので、ご覧願います。

評価につきましては、先程のスケジュールの中でも、説明させていただきましたが、今後の部会で、審議いただきたいと考えておりますが、評価方法につきましては、今後とも、国や北海道の評価方法を参考にしながら、更に、内容を詰めてまいりたいと考えております。

説明は、以上であります。

○井出部会長

ただいま、事務局からご説明いただきましたが、何かご質問などありませんか。

評価方法というのは、特定検診の評価方法とは別の物なのですか。

○事務局

特定検診とは別で、健康日本21の評価方法になります。

○事務局

資料2を見ていただきたいのですが、先程、見方を説明したものです。1ページの「1. 栄養・食生活」とありますが、評価につきましては、策定時のベースライン値というのがあります。男性20歳から60歳代の肥満ですと、目標値15%、ベースライン値29.2%、今回、最終評価を行って何%かというのが出てきます。先程の評価については、目標値に対して達成したかどうか、最初のベースライン値より悪くなっていれば、悪化となり、4区分での評価となります。

先程、部会長からの質問にあった特定検診の関係については、6ページにある項目50、51が特定検診の指標として設定されていますが、これについては、受診率と指導の実施率ということで、これが目標に対してどうかという評価になります。以上です。

○井出部会長

他に、ご意見、ご質問はありませんか。

○吉村委員

結果の表し方ですが、アンケート調査は単独に結果を出すのか、全体の中に組み込んだ形で結果を出すのか、教えていただきたい。

○高橋委員

今の件に関連すると思うが、調査対象者は6歳から85歳までの男女2,500人となっておりますが、対象となる年齢は比率によって出すのか、無作為なのか、出し方についてお聞きしたい。

○事務局

先に高橋委員のご質問からお答えいたします。

階層別の中の5%、その中での無作為となります。

吉村委員のご質問については、アンケート調査についての結果報告をした後に、更に全体を通して最終評価という形で出させていただきたいと思います。

○委員

アンケートの回収率は何%を見込んでいるのですか。

○事務局

実は平成19年度に中間調査を行なった時には、約39%の回収率でした。

平成13年度に行なったアンケート調査では約49%の回収率でした。

○井出部会長

他にご意見、ご質問はないでしょうか。

○委員

対象者の抽出方法は、年齢と性別も加わるのですか。

○事務局

年齢と性別、地区も加わります。

○委員

アンケートの中で、問15の答え方について、通年で考えて良いのか、今時期のことを答えて良いのか迷うのではないのでしょうか。

○事務局

夏期間のつもりで作っていますが、通年でとらえる方もいらっしゃるかも知れません。

前回のものとの比較もあるので、精査させていただきたい。

○委員

8ページの「うつ」のところでの答え方について、「よく知っている」、「知っている」とはどういう違いがあるのですか。

○委員

授業で「うつ病」について講義をしていますが、「よく知っている」とは回答しないで「知っている」と回答すると思います。

主観的な回答であるということを認識して分析することになると思います。

うつ病を「知っている」、「知らない」を調査してどのように結果を利用するのですか。

○事務局

平成14年、中間評価でも調査していないところなので、答えやすい形がいいと思われれます。

当初の目標値として設定していますが、最初の時に調査をしていないので現実的には評価できていない指標です。

現状として、どの程度、「うつ」について知っているかということを知りたいと思っています。

○委員

歯科健診についての項目について、これは、歯科を受診していれば良いのですか。

○事務局

ここでいう歯科健康診断というのは、治療後、3ヵ月後、6ヵ月後など病院から指示を受けて、定期的に受診しているかどうかということを知っています。イベントなどで検診を受けた場合は、「不定期だが受けている」の回答になると思われれます。

もう少し、分かりやすい表現になるよう検討したいと思っています。

○委員

がん検診について定期的に受けているかという項目については、1つだけの受診でもあてはまるのですか。

○事務局

ここでは、どれか1つでも受けていれば、あてはまります。

○委員

例えば、胃がん検診だけを毎年受けていても、あてはまるということですね。

○事務局

ここでは、数値目標とは関係ない形で、問4 1、4 2を作っています。

帯広市では、胃がん、肺がん検診の受診率が低いので、なぜ、受けないのかを調査したいと思っ  
ていますが、その検診に絞り込めないで、まず、がん検診を1つでも2つでも受けていますかとい  
うことで質問して、問4 2のところ、受けていない人はどういう理由で受けていないかを明らか  
にしたいと思えます。胃がん、肺がんについては、病気になれば、医者にかかるという方がいら  
っしゃるのかなと思えます。帯広市胃がん、肺がんの死亡率が高く、受診率が低いという状況  
のため、その理由を探りたいということで調査項目にしています。

○委員

今、言った理由であれば、「毎年受けている」の後に、肺がん、胃がんなどの項目をつけて、○  
をつけてもらうのは、どうでしょうか。

○事務局

そのようにしたいと思えます。

○委員

総合的に全てのがん検診をされている方は、少ないと思えます。検診項目をあげた方が、  
具体的内容を掌握できると思えます。

○事務局

今、がん検診だけではなく、人間ドックや脳ドックなどにあわせて検診を受けている方も  
いらっしゃるのでは、答える方が答えやすいようにいろいろ指摘していただければと思  
います。

○事務局

「うつ」の部分を確認させていただいてよろしいでしょうか。

1. 知っている。2. 大体知っている。3. 聞いた事はあるが、よく知らない。4. 知らない。  
に変更したいと思えますが、よろしいでしょうか。

[委員 同意]

○事務局

それでは、そのように変更させていただきたいと思えます。

○井出部会長

他になければ、今、委員から出た意見をよく検討していただきたい。

事務局から、何かありますか。

○事務局

皆様にお配りしている今年度の帯広市自殺予防対策事業の講演会のチラシについてお知  
らせさせていただきます。今年のテーマは、『自殺をくい止めろ。命の灯台・東尋坊からのメ  
ッセージ』ということで、7月23日、土曜日、午前10時から、とかちプラザ2階視聴  
覚室で行います。講師は、元警



察官で、現在は、NPO法人を立ち上げている茂 幸雄さんをお迎えしています。

皆さんも、もし都合がつけば、ぜひ参加をお願いしたいのですが、参加される場合は、裏面の用紙でお申込ください。皆さんの周りの方にも、一声かけていただければと思います。

最後に、次回の健康づくり支援部会の日程につきましては、井出部会長と調整の上、委員の皆さんにご案内させていただきますので、よろしくお願いいたします。

○井出部会長

それでは、以上で予定されていた議事は終了いたしました。本日は、これで閉会といたします。お疲れ様でした。